

農業用ため池に関するデータベース及び共有システムの構築

平成31年3月5日

農林水産省

農業用ため池に関するデータベース及び共有システムの構築

課題

- 農業用ため池の所在地、所有・管理者、諸元・構造等に関する**情報を行政機関が正確に把握するための仕組み**が必要

全ため池 【約20万か所】

【9.6万か所】

ため池データベース※に登録

(受益面積0.5ha以上)

※平成25年度～平成27年度に作成

対応方向

- 所有者又は管理者による
都道府県への**届出を義務付け**
- 都道府県による
データベースの整備・公表

「農業用ため池の管理及び保全に関する法律案」
(2月19日閣議決定。通常国会提出)

農業用水の確保を図るとともに、農業用ため池の決壊による水害等の災害から国民の生命及び財産を保護するため、防災上重要な農業用ため池を指定し、必要な対策工事の施行を命じることができることとする等の措置を講じる。

「ため池防災支援システム」を活用したデータベースの整備

ため池防災支援システム (SIPで開発)

地震時の決壊予測

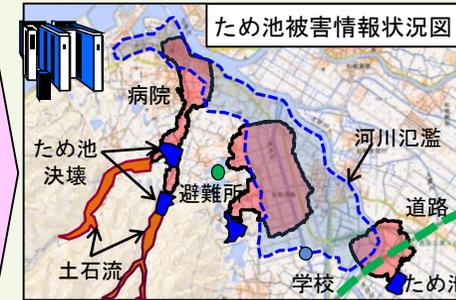


豪雨時の決壊予測



平常時・災害直後の情報の収集・管理

地震情報
豪雨情報
基礎情報
被災情報
他機関情報



決壊予測
下流被害
対策支援

ため池防災支援システム (農林水産省で利活用)

下流域の被害予測



ため池決壊時の下流被害予測 連鎖決壊予測

国・地方公共団体・ため池管理者等への情報提供

モバイル端末を活用したメンテナンス (点検・補修等) 情報、水位計のデータ等を紐付け、関係者間で情報の共有・活用



点検・補修情報



水位計データ